

ISO維持管理 サービスが好調

エコヒルズ

ISO関連のコンサルティング事業などを展開するエコヒルズ(東京都港区、03・3568・7301、田宮嘉一社長)の「ISO維持管理サービス」が好調だ。ISO14001などの認証取得企業を対象に、文書管理やシステムの運用管理などをトータルで受託。インターネットを通じて文書作成や運用相談に応じる。認証取得企業に絞ったサービスは珍しく、アンケートやマーケティングを通じて得た現場の「生の声」を反映したサービスが顧客から好評を得ているという。今後は人員増などを通じて体制を強化。来年度には受注契約を、これまでの累計の約二倍となる100社、売り上げ一億円まで引き上げたい考え。

人件費を大幅削減
40〜50社と契約

サービスは、ISO認証取得企業を対象に、インターネットを通じて文書の作成や改

定、電子承認などの一部ないしはすべてを代行する。ともに、コンサルタントが規格の適合性や有効性といったシステムの維持管理や継続的改善に関する相談に応じるもの。

で、企業にとってはシステム維持管理のための人件費の大幅削減につながる。月額10万円から引き受けるなど、低コストな点も好評を得ている。これまでに大手企業を中心に、合計40〜50社と契約。今年三半期では、四五〇万円の売り上げを見込んでい

る。その結果、「紙、ごみ削減、海外への展開視野にソフト開発にも注力

ISO文書のペーパーレス化や管理代行などを通じて文書管理体制を効率化すること

る。日本国内のISO14001認証取得件数は昨年十一月現在、一万九四七七件に上る(日本規格協会調べ)。田宮氏は「認証取得後の維持管理に苦労している企業は少なくない」と指摘する。田宮氏は、「担当者

の苦勞や悩みは、これまで漠然とは知られてはいても、明確に頭

現場の「生の声」反映が奏功



田宮社長

「省エネが行き詰っている、エアにも活用する。例えばこれまで、グリーン」が少なくないとされる廃棄物処理法に対して適法かを判断し、排出者としての順法性を確保するための「これだけ!環境法 廃棄物処理編」(三〇万円)を始め、システム管理者や内部監査員、取引先などに対する教育訓練

認証取得企業に照準 来年度100社受注目指す

用eラーニングソフト「力量アップ内部監査員研修」(二〇万円)を提供している。これらのソフトの開発・販売も同社の事業の柱の一つとして位置付けており、ISOの維持管理のためのツールとして活用してもらいたい考えだ。現在では、一〜二年後の販売開始を目標に、環境管理システムへの対応すべてをマニュアルなしで実現できるソフトの開発に取り組み。合わせて従来製品の翻訳版ソフトの作成を進めるなど、海外展開も視野に入れているという。田宮氏は、「日本は環境世界のリーダーシップを取れるだけの潜在力を持っている。当社は、その環境力を底上げできるような『縁の下力持ち』でありたい」としている。